

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	28年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 総合開発課 金城・中川・南5区担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト		
事務事業名	金城ふ頭における円滑な交流拠点開発の推進			連絡先	052-654-7978
目的	対象(誰・何を)	金城ふ頭			事業期間
意図(どうい う状態にしたいか)	物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発を推進します。			平成29年度～	
概要	名古屋市モノづくり文化交流拠点構想の実現を図るため、レゴランド・ジャパンを核とした複合開発に協力しており、今後もレゴランド・ジャパンの拡張や商業施設2期開発等が予定されていることから、物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発を推進します。			根拠法令等	
29年度の実施予定	金城ふ頭まちづくり協議会に特別会員として参加し、交流施設関係者や名古屋市と調整を行うとともに、港湾関係者と調整を図ります。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

29年度に実施した内容・結果	大規模イベントにおける交通対策等について、交流施設関係者や名古屋市と連携し、港湾関係者との調整を行いました。					
コスト	単位	27年度	28年度	29年度	合計(平成29年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	—	—	0	0	
人件費	千円	—	—	18,380	18,380	
合計	千円	—	—	18,380	18,380	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾関係者との調整(回)	目標	—	—	12		12	円滑な交流拠点開発を推進するため、金城ふ頭内で港湾活動を行う関係団体と調整を図る。(4団体×3回/年)	
	実績	—	—	12		12		
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る 目標値どおり 目標値を下回る				
金城ふ頭まちづくり協議会への参加(回)	目標	—	—	13		13	金城ふ頭まちづくり協議会は、より多くの人が訪れ、楽しみ、交流する、名古屋の新たな名所となるような場として活性化していくことを目的としており、同協議会に特別会員として参加する。(総会1回/年、合同部会1回/月)	
	実績	—	—	13		13		
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る 目標値どおり 目標値を下回る				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	予定のとおり、交流施設関係者や名古屋市と調整を行うとともに、港湾関係者と調整を行いました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	<input type="radio"/> 本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? <input type="radio"/> 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/> 名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想の実現に向け、物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発を推進する必要があります。						
有効性	<input type="radio"/> 事務事業は、施策達成に貢献するか? <input type="radio"/> 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/> 交流拠点開発が推進されることにより、更なるにぎわいの創出が期待されます。						
効率性	<input type="radio"/> 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/> 最小限の人員で対応しています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	30年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
	継続	維持	維持	今後も金城ふ頭において物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発の推進に取り組む必要があるため。
	課題			30年度以降の取組
金城ふ頭における交流拠点開発は、物流機能を阻害しないように推進していく必要があります。				物流機能と共存した円滑な交流拠点開発の推進に向け、引き続き交通対策等について関係者と調整を行っていきます。